

第1学年4組 外国語活動学習指導案

令和元年10月29日(火) 第5校時

1年4組教室

指導者

A L T

1 単元名 世界の行事を知ろう！ Let's take about global events!

2 単元観

本単元は、1年生の学習する単元の3つ目として設定されている。クリスマスやハロウィンなど、最近では子供たちにとって身近な行事になってきている。しかし、行事としては知っているが、由来や諸外国での行事の様子まで知る児童は少ない。日本や諸外国での行事の相違点や共通点を知ること、お互いの文化に気づき、理解することにつながる。また、今回の単元では、9・10月はハロウィン、11・12月はクリスマスを題材として取り上げる。どちらの行事も、児童の興味関心が高い行事である。

使用する英語表現は、今まで学習してきた「挨拶」や「色」、「数字」を取り扱い、十分に慣れ親しんだところで、12月のクリスマスの題材では「形」について取り扱う。音声によるやり取りを大切に、自分の考えや相手の考え等、英語を使ってやり取りすることの楽しさや、日本語と違う面白さ、ジェスチャー等の非言語スキル等も使用して相手に伝えようとする中で、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を育む。

コミュニケーション活動としては、欲しい物の色や数量を尋ね、やり取りをする。これまでには、「What color do you like?」と好きな色についてやり取りをしているが、本単元では、自分が「好きな物」ではなく「欲しい物」を伝えることで、より明確な目的意識をもつことができると考える。

9・10月の単元の最後には「ハロウィンパーティーをしよう」と設定し、ハロウィンの文化を知り、実際に自分たちで模擬的なハロウィンを楽しむ活動を行う。本時ではその前段階として、「ハロウィンパーティーの準備をしよう」と目的を設定し、児童が何のためにやり取りをするのか明確にして、取り組めるようにする。

モジュール(短時間)学習では、主に使用する「挨拶」や「色」、「数字」といった英語表現に十分に慣れ親しませる為に、歌やダンス、ジェスチャー等を使用した活動を設定する。「SWITCH ON!」を活用し、児童の好きな歌やダンスで、楽しく英語表現に慣れ親しませることで、「コミュニケーション能力の素地」を育む。

また、教科横断的な視点から、図工科「しぜんとなかよし」、生活科「たのしいあきいっぱい」の単元と連携して行う。本単元の第5校時に「ハロウィンパーティーをしよう」という場を設定している。この学習で、ハロウィンのための仮装の材料を生活科「たのしいあきいっぱい」で探し、その探した材料を使い、図工科「しぜんとなかよし」で仮装を作る事とした。「ハロウィンで自分が着る衣装を作る」という目的を明確にし、実際に他教科とも連携して行うことで、数少ない外国語活動の時間をより充実したものにしていきたい。

3 児童観（略）

4 指導観

「英語を使ってコミュニケーションをすることが楽しい」と児童自身が十分に感じられるよう、単純なパターンプラクティス（表現習得のために繰り返し行う口頭練習）等で終わることのないよう、様々な活動を通して、英語表現に慣れ親しむことができるよう工夫していく。児童の好きな歌や絵本、ダンスを活用し、楽しく英語表現を使う場面を設定する。また、コミュニケーション活動の場面では、9・10月の単元の最後の「ハロウィンパーティをしよう」につながる活動であることを伝えることで、明確な目的意識をもたせるようにする。そして、やり取りの中にゲーム性を取り入れることで「意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を促す。具体的には、「ハロウィンパーティで使うお菓子を準備しよう」という場面を設定し、児童同士で自分の欲しいお菓子を得るためにコミュニケーションを図る。また、「欲しい物を伝える」というというやり取りは、次の12月「クリスマスツリーを作ろう」という活動で、自分の欲しい飾りの色や形、数を伝えるという活動につなげるため、本単元で十分に慣れ親しませていきたい。そして、活動の所々で、ALTとやり取りをする「Challenge Time」を設定している。今まで使用した英語表現を使って、ALTと全体の前で会話することで、児童の英語でコミュニケーションをすることに対する自信につなげていきたい。

板書には、本時の流れを示す絵カードや、English Rule、絵カードを使用する。どの絵カードにも英語の文字表記はなく、絵のみのカードを使用する。これは、文字があると、どうしても文字に頼ってしまう為、あえて文字をなくすことで、音声によるやり取りを大切にしたいという思いからである。

以上のような活動を設定することで、ALTや友達と積極的にコミュニケーションに「ふれる、慣れる、

親しむ」という一連の活動の中で、積極的にコミュニケーションを図る楽しさに気付かせ、自分の考えや意図を伝える活動を通して、児童の主体性や論理的な思考力・判断力・表現力及び行動力の素地を育てていきたい。

5 研究テーマとの関連

戸田市が育てたい児童生徒像	① 誰とでも主体的に関わろうとする子供	② 互いに気持ちや考えを英語で伝え合う子供	③ 豊かな国際性を身につけた子供
本単元で育みたい児童像	<ul style="list-style-type: none"> 色や数字の表現を用いてALTや友達と積極的にコミュニケーションを図る。 ジェスチャー等を使って、相手の目を見て、コミュニケーションを図ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTや友達と自分の欲しい物について色や形、個数を伝え合っている。 自分の欲しい物の色や形、個数を分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国の行事について知り、日本以外の国の文化に興味をもつ。

戸田市の小学校「外国語活動」におけるCAN-DOリスト形式によるコミュニケーション学習の到達目標によると、「話す活動」の到達目標では、「自分の好きなもの（動物・数字・色など）を相手の目を見て話すことができる」ことを低学年修了時の目標の一つとしている。本単元においては、English Ruleのひとつである「Eye contact」を重視し、コミュニケーション活動を行うことが含まれている。

本市では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と指導力の向上をテーマのひとつとして掲げ、全小学校で研究を進めている。そこで「戸田市立小・中学校 外国語指導と評価におけるルーブリック」を活用し、主体的・対話的で深い学びへの授業改善を図る。

本単元では、以下のルーブリック項目を主に授業改善を図る。

0 授業前の準備・確認を入念にしたか。 【授業力の視点】	授業は英語で進められるよう、教室英語を活用し、明確な指示を出しているか。
1 子供が目標を理解し、課題に興味をもって取り組んでいたか。 【目指すべき目標＝評価規準及び評価基準を設定して行う指導と評価の一体化】	コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を明確に設定し、子供たちが「聞いてみたい」「自分の気持ちや考えを伝えたい」「持っている情報を共有したい」と思わせるような具体的な課題を設定できたか。
2 子供が自分の考えを表現することができていたか。 【主に主体的な学びの視点】	コミュニケーションに必要な語彙や表現に習熟するための学習時間を十分に確保したか。
3 子供が友達の発言を受け止め、自分の意見と比べていたか。 【主に対話的な学びの視点】	相手や他者と主体的に関わり合う場面や状況を意図的に設定できたか。
4 子供が思考・判断・表現する活動を通して「見方・考え方」を働かせていたか。	「コミュニケーション能力は実際のコミュニケーションを経験することによってしか身につかない

【主に深い学びの視点】	い」という考えのもと、3領域を関連させながら、統合的・総合的に指導できたか。
5 子供が「分かったこと」「やったこと」や「できたこと」など、学びの成果や課題を実感していたか。 【学びの評価・振り返り】	子供たちが「本時の目標に正対した振り返り」ができるような場を設定したか。

特に、高学年になり教科として外国語で深い学びにつながるよう、2【主体的な学びの視点】、3【対話的な学びの視点】を大切に指導していきたい。

6 単元の目標等

(1) 単元の目標

- ・自分の欲しい物について、ALT や友達の様子を見て、積極的にコミュニケーションを図る。
【積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度（資質の育み）】
- ・自分の欲しい物の色や個数を伝え合う活動を通して、コミュニケーションの仕方に慣れ親しむ。
【コミュニケーション能力（能力の育み）】
- ・外国の行事について知り、日本以外の国の文化に興味をもつ。
【言語や文化についての体験的理解・発信（気付きの育み）】

(2) コミュニケーションの働き

- ・自分の考えや意図を伝える。

(3) 表現

What color do you want? /How many candies do you want?

(4) 主な語彙

数字（1 - 10）

色（Red, Yellow, Pink, Blue, Purple, Orange, Green）

形（star, heart, circle, triangle, square, rectangle, diamond）

7 評価の観点と評価規準

評価の観点	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度（資質の育み）	コミュニケーション能力（思考・判断・表現の諸能力の育み）	言語や文化についての体験的理解・発信（気付きの育み）
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の目をみてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・ALT や友達に欲しい物を積極的に伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の欲しい物の色や形、数について伝えている。 ・自分の欲しい物について伝えたり、相手の欲しい物を聞こうとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の行事を知り、日本以外の国の文化に興味をもつ。

8 単元の指導と評価の計画（全7時間扱い）本時4/7

過程	第1時	第2時	第3時	第4時(本時)	第5時	第6時	第7時
目標	外国の行事を知り、日本以外の国の文化に興味をもつ。	色や数の英語表現に慣れ親しみ、自分の考えを伝えている。	ALT や友達に自分の欲しい物を積極的に伝えている。	自分の欲しいお菓子の色や数について伝え、相手の欲しい物を聞こうとしている。	外国の行事を体験し、日本以外の国の文化に興味をもつ。	形を表す英語表現に慣れ親しみ、自分の考えを伝えようとしている。	外国の行事を知り、日本以外の国の文化に興味をもつ。
1 あいさつ	Hello. How are you? English Rule 確認 Today's Menu						
2 ウォームアップ	歌（色、数、形を取り扱ったもの） チャレンジタイム						
3 言語活動〔コミュニケーション活動〕	<p>【ふれる】単元のゴールを知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>【慣れる】外国の行事を知る。</p> <p>【親しむ】歌等で外国の行事について慣れ親しむ。</p>	<p>【ふれる】歌、チャンツ、Pointing Game</p> <p>【慣れる】BIG BOOKを用いて、「色+物」の英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>【親しむ】Production 班ごとに自分たちの Brown Bear を発表する。</p>	<p>【ふれる】歌、チャンツ、Missing Game</p> <p>【慣れる】ハロウィンやクリスマスで使用する英語表現について慣れ親しむ。</p> <p>【親しむ】自分の欲しいお菓子について、友達に伝える。</p>	<p>【ふれる】歌、チャンツ Calculation Game、おはじきゲーム</p> <p>【慣れる】自分の欲しい物を伝える英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>【親しむ】自分が欲しいお菓子について、友達に尋ねたり、答えたりする。</p>	<p>【ふれる】歌、チャンツ Calculation Game、Missing Game</p> <p>【慣れる】自分の持っているお菓子について友達に伝える。</p> <p>【親しむ】ハロウィンパーティを開き、外国の行事に慣れ親しむ。</p>	<p>【ふれる】歌、チャンツ、おはじきゲーム、Missing Game</p> <p>【慣れる】クリスマスツリーにどんな形のかざりが欲しいか友達と伝え合う。</p> <p>【親しむ】友達が欲しいクリスマスツリーを友達に紹介する。</p>	<p>【ふれる】歌、チャンツ、おはじきゲーム</p> <p>【慣れる】クリスマスに関する絵本や歌を使い、外国の文化に慣れ親しむ。</p> <p>【親しむ】友達からもらったクリスマスツリーを友達に紹介する。</p>
4 振り返り	評価規準に沿った振り返りをもとに、本字の学習について自己評価をする。						
5 あいさつ	Goodbye Song See you next time.						
モジュール学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 色や数、形についての英語表現に慣れ親しむ。 相手に配慮しながら、自分の考えを伝える。【積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度】 						
モジュール学習内容	歌、チャンツ（SWITCH ON!の活用） BIG BOOK（Brown Bear 等）						

9 本時（第4時）のねらい、評価観点、評価規準

- ・ねらい：自分の欲しい物をについて、友達や ALT と積極的にコミュニケーションを図る。
- ・評価観点：積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度（資質の育み）
- ・評価規準：自分の欲しいお菓子を伝えたり、相手の欲しいお菓子を尋ねたりする活動を通して、友達や ALT と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

10 本時の展開

※S:児童 HRT:担任 ALT:ALT

過程	○児童の活動	チームティーチング		・指導上の留意点 ◎教材 ◆評価規準と方法
		担任の活動	ALT の活動	
挨拶 3分	<p>○HRT の挨拶で授業を始める。</p> <p>HRT: Hello, everyone. S: Hello! HRT: How are you? S: I'm ○○. ALT とも挨拶をする。</p> <p>○English Rule の確認</p> <p>Nice Smile Eye contact Clear voice Good response Gesture</p> <p>○授業の流れ（Today's Menu）を確認する。</p>			<p>・元気よく挨拶させる。</p> <p>◎絵カード ・ジェスチャーをつけ、English Rule を明確に意識づけさせる。</p> <p>◎絵カード ・学習の見通しをもたせる。</p>
復習 8分	<p>○歌を歌う。</p> <p>HRT: Now, Let's sing! Are you ready? S: Yes!</p>			<p>◎SWITCH ON! ◎CD ・Clear voice を意識し歌わせる。</p>
展開 慣れる 12分	<p>HRT: Next, Let's enjoy Game Time. Are you ready? S: Yes!</p> <p>○Calculation Game（計算カード）をする。</p> <p>○Dinosaur and Meat（おはじきゲーム）をする。</p>	<p>・カードを見せる。</p>	<p>・発言を促す。</p>	<p>◎計算カード（足し算）</p> <p>・</p>

	<p>数字や色の語彙に慣れ親しむ。</p>	<p>・活動が滞っている児童に声かけをする。</p>	<p>・担任と一緒にデモンストレーションをする。</p>	
<p>親 し む 18分</p>	<p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>ハロウィンパーティでつかうおかしをじゅんびしよう。</p>		<p>◆自分の欲しいお菓子を伝えたり、相手の欲しいお菓子を尋ねたりする活動を通して、友達やALTと積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>【資質の育み】〈行動観察〉</p> <p>【参考：教師用「評価基準：A,B,C」】</p> <p>A：相手の目を見て、積極的に自分の欲しいお菓子について色や数を伝えたり、相手が欲しいお菓子について尋ねようとしている。</p> <p>B：積極的に自分の欲しいお菓子について伝えたり、相手は欲しいお菓子について尋ねようとしている。</p> <p>C：積極的に自分の欲しいお菓子について伝えたり、相手の欲しいお菓子について尋ねたりしていない。</p>
	<p>○HRTとALTのデモンストレーションをみて、活動内容や英語表現を確認する。</p>	<p>・めあての確認をし、掲示する。</p> <p>・ALTと共にデモンストレーションをする。</p>	<p>・担任と共にデモンストレーションをする。</p>	
<p>【発話例】</p> <p>A：Hello!</p> <p>B：Hello!</p> <p>A：How are you?</p> <p>B：I'm fine, thank you. And How are you?</p> <p>A：I'm happy!</p> <p>(じゃんけんをする)</p> <p>Loser(以下 L)：What color do you want?</p> <p>Winner(以下 W)：(I want) pink!</p> <p>L：How many candies do you want?</p> <p>W：(I want) three.</p> <p>【もしピンクの飴を3つ以上持っていたら、Wに3つ渡す。】</p> <p>L：Here you are.</p> <p>W：Thank you!</p> <p>【もしピンクの飴を3つ持っていなかったら、何も渡さない。】</p> <p>L：Sorry.</p> <p>W：Oh, no. Goodbye!</p>				
<p>○やり取りタイム</p>	<p>・ゲームの仕方を説明する。</p>	<p>・児童とコミュニケーションを図</p>		

	<p>自分が欲しいお菓子について、友達とのやり取りを通して、貰ったり渡したりする。</p> <p>○紹介タイム 自分がもっているお菓子について紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動が滞っている児童を見つけ、例を示す等支援する。 ・児童を指名する。 	<p>りながら、ゲームを進めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎お菓子カード ◎マグネット板
振り 返り 3分	<p>○本時の学習で身に付いたことを 挙手で確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動で好ましい変容や相手の反応を示していた活動について総括する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動を賞賛する。 	
挨拶 1分	<p>HRT : That's all for today. ALT : Let's sing goodbye song! ○Goodbye song を歌う。 S: See you next time!</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・元気よく挨拶させる。

1 1 板書計画

<p>10月29日 天気</p> <p>English Rule 絵カード</p> <p>今日の流れ あいさつ うた ゲーム ミッション ふりかえり あいさつ</p>	<p>ハロウィンパーティーでつかうおかしをじゅんびしよう！</p> <p>色 絵カード</p> <p>数 絵カード</p> <p>マグネット板</p>
---	---

